

# ニューラル言語モデルの研究動向

高瀬 翔<sup>1</sup>

**概要：**言語モデルは与えられた系列の尤もらしさを計算するモデルであり、機械翻訳や音声認識など、応用範囲は多岐にわたる。とりわけ、近年のニューラル言語モデルの発展は目覚ましく、ベンチマークとして用いられることの多い Penn Treebank コーパスにおいて、劇的な性能向上が報告されている。本講演では、これら最新のニューラル言語モデルの研究動向を概観する。特に、トップスコアを達成したと謳う研究では、どの要因が性能向上に寄与したか判然としないものもあるため、力の及ぶ限りで整理を行いたい。さらに、ニューラル言語モデルの発展として、ELMo や BERT のような埋込表現にもふれた上で、今後の方向性について議論を行う。

---

<sup>1</sup> 東京工業大学